

経営比較分析表（令和3年度決算）

和歌山県和歌山市 本町地下駐車場

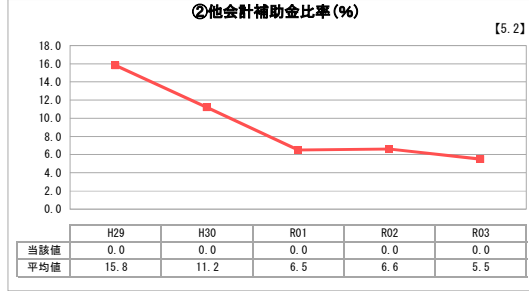
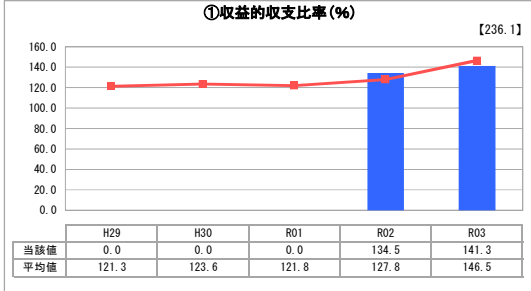
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	42	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	5,566
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
188	200	利用料金制

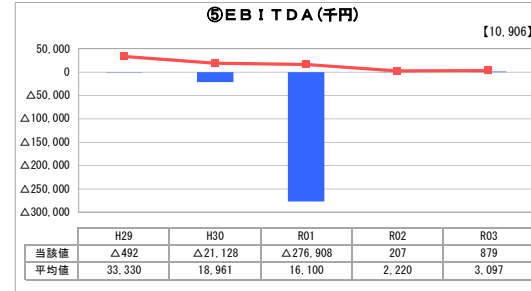
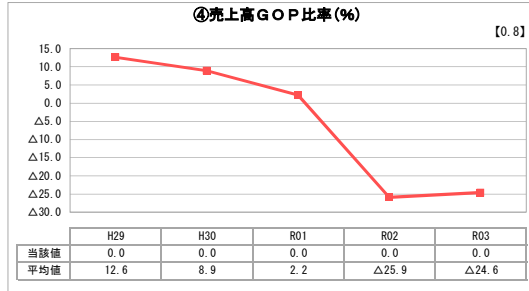
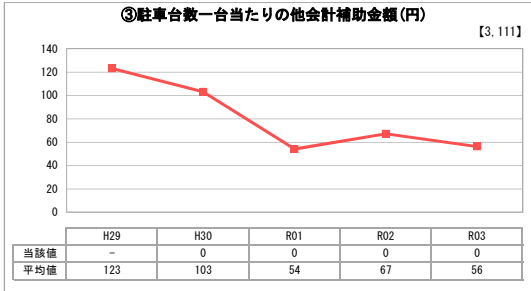
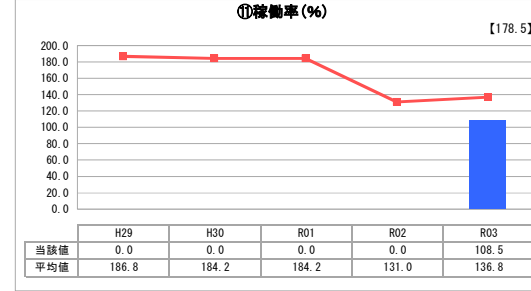
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

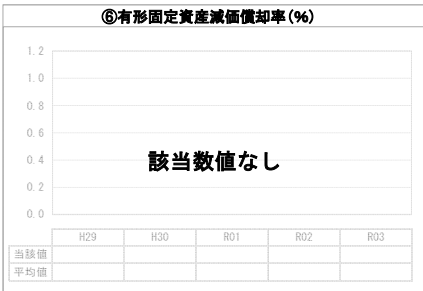
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

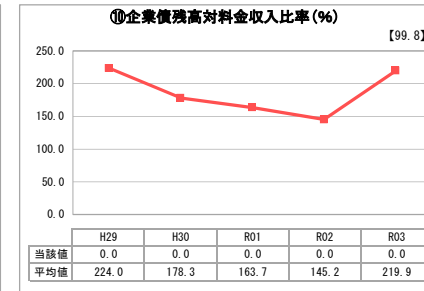
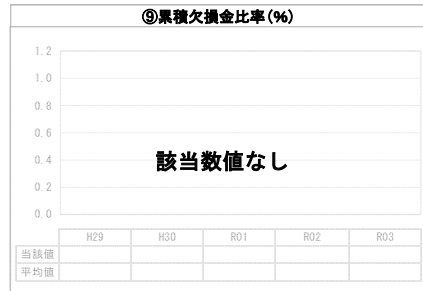


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
平成23年度から休止中していたが、令和2年4月1日に再開。利用料金制指定管理者からの納入金が主な収益となるが、支出を上回る金額が納入されており、安定した経営となっている。

2. 資産等の状況について
地下駐車場であるため、土地の資産価値はない。

3. 利用の状況について
令和2年4月再開。
再開時の状況が新型コロナウイルス感染症拡大後であったため、駐車場利用者が少なかったが、令和3年度以降行動制限が徐々に緩和され稼働率も少しずつ増加している。

全体総括
駐車場上部の土地には市民が集う公園、隣接地には誘致による新大学、認定こども園及びこども支援センターがあり、それらの施設に来られる方の利用を見込んでいる。
収益性については、利用料金制による指定管理者が公園管理を行っているため公園でのイベント開催など一体的な運営により、採算性を高めるよう、取り組んでいる。

経営比較分析表（令和3年度決算）

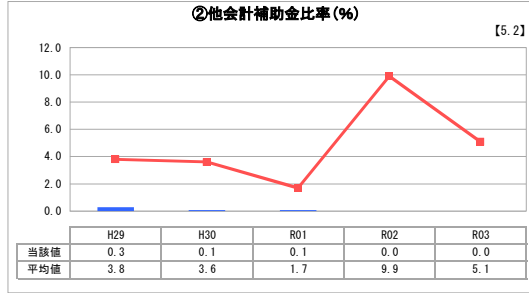
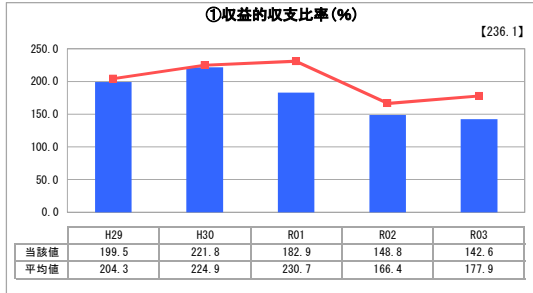
和歌山県和歌山市 中央駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	40	

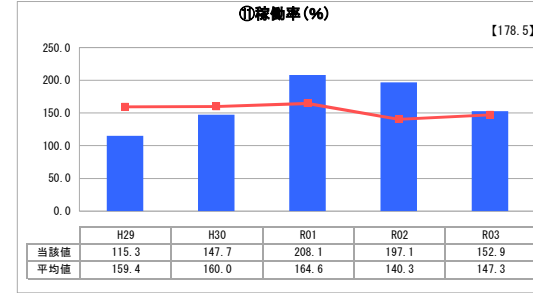
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	11,748
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
577	160	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



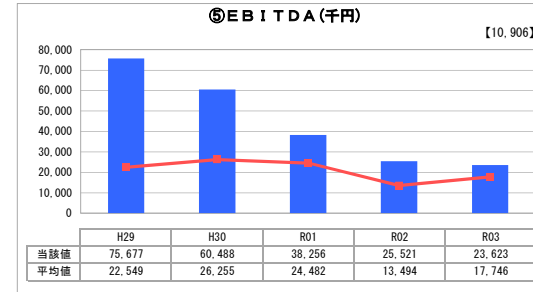
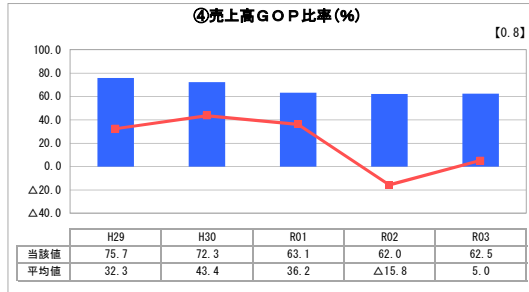
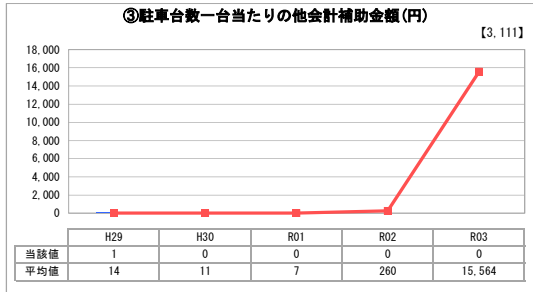
分析欄

1. 収益等の状況について
令和3年4月から隣接地に新たに市営駐車場が供用開始され、利用者が分散されている。
売上高GOP比率は高いレベルにあり、収益的収支比率も黒字を維持していることから、会計としては健全である。

2. 資産等の状況について
耐震改修工事等の起債借入により債務残高はあるものの、資産としては安定した状態にある。

3. 利用の状況について
稼働率は平均値を上回っており、安定した需要が見込まれる。

全体総括
収支は健全であり、近隣の公的施設やまちなかの賑わい創出事業によって、需要増が見込まれる。事業継続を確実にするため、定期駐車券の募集を再開する等、収益の増加を図っていく必要がある。



2. 資産等の状況

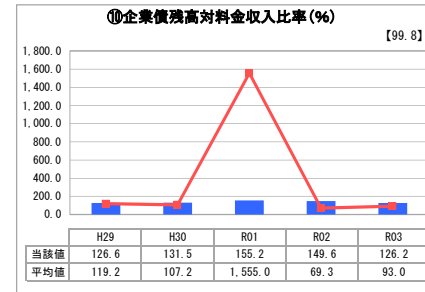


⑦敷地の地価(千円)

191,674

⑧設備投資見込額(千円)

0



経営比較分析表（令和3年度決算）

和歌山県和歌山市 城北公園地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	28	

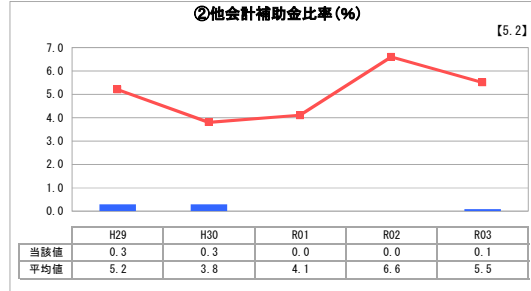
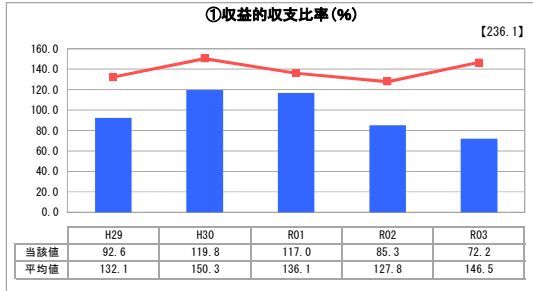
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	7,406
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
196	200	代行制

グラフ凡例

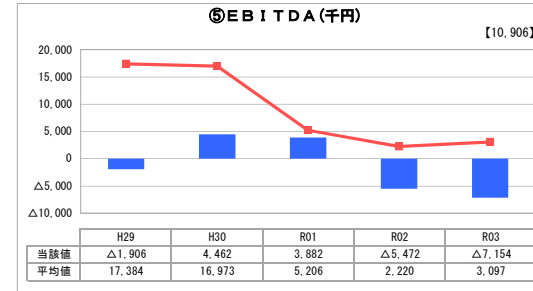
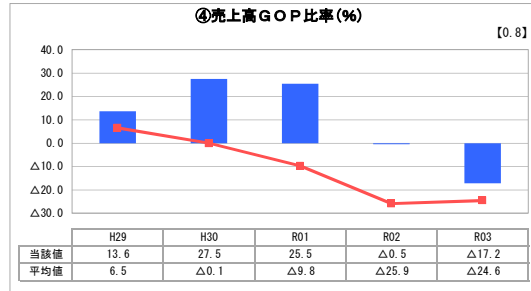
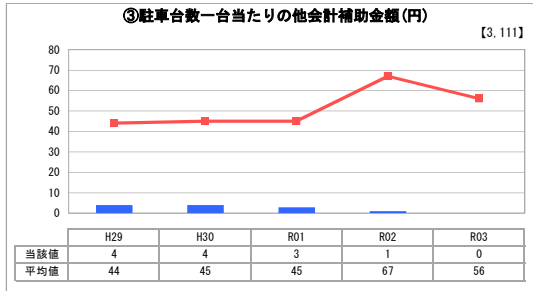
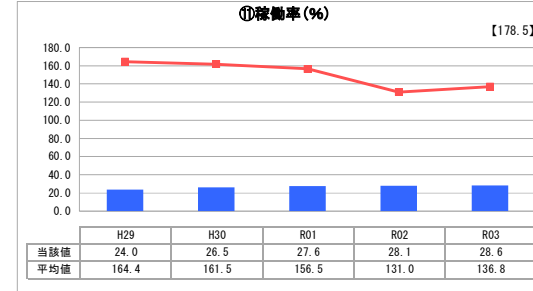
- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)

【】 令和3年度全国平均

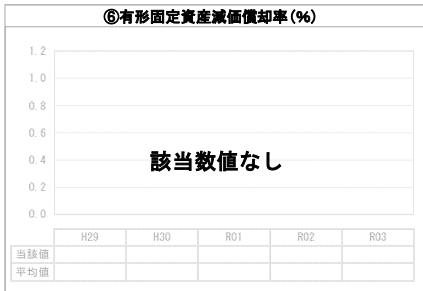
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

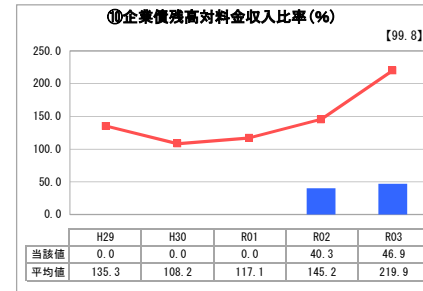
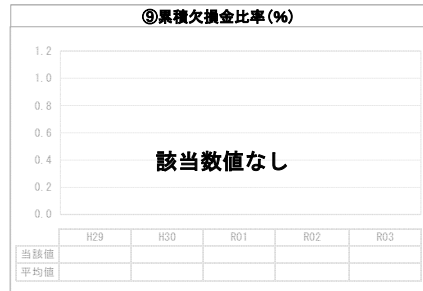


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

37,044



分析欄

1. 収益等の状況について
 近隣に立地している本町地下駐車場が令和2年4月に再開したことによる影響による利用者の分散化が影響し、収益が減少している。

2. 資産等の状況について
 地下駐車場であるため、土地の資産価値はない。令和2年度エレベーターの更新。令和3年度精算機システムの更新。

3. 利用の状況について
 稼働率は、依然として平均値は下回るものの、隣接地に小中一貫校があり、高い水準ではないが安定した稼働状況となっており、徐々に増加している。

全体総括

近隣に公的施設やまちなか賑わい創出事業により新たな公園整備されたことから、将来的に駐車場需要は増加が見込まれている。事業は継続の方向であり、今後は、利用ニーズに合った料金体系を検討していく。

経営比較分析表（令和3年度決算）

和歌山県和歌山市 けやき大通り地下駐車場

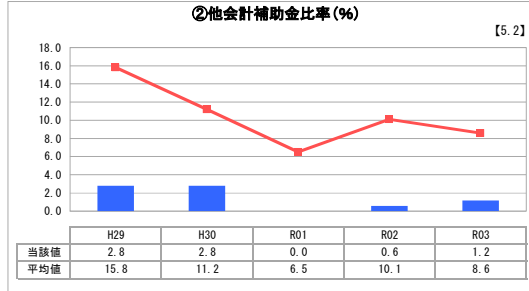
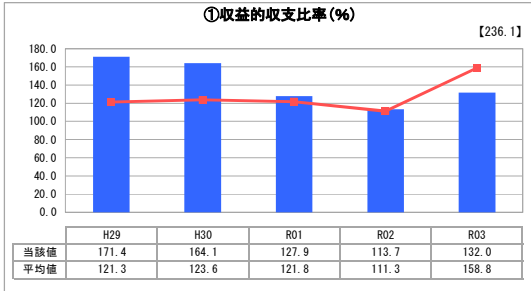
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	28	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	12,298
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
352	300	代行制

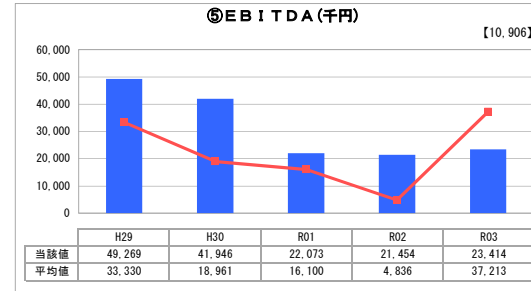
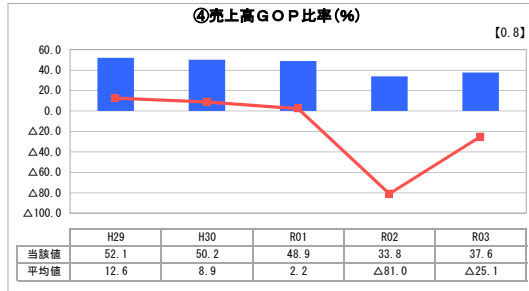
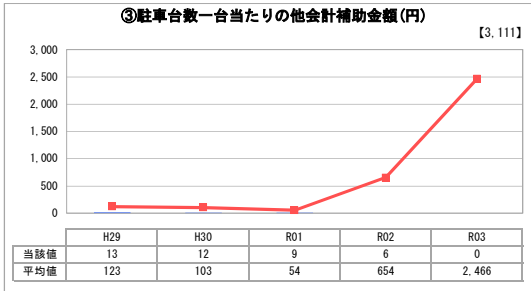
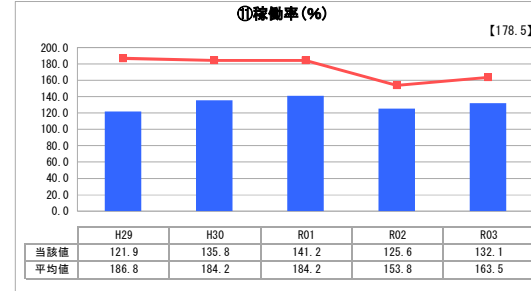
グラフ凡例

- 当該施設数値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



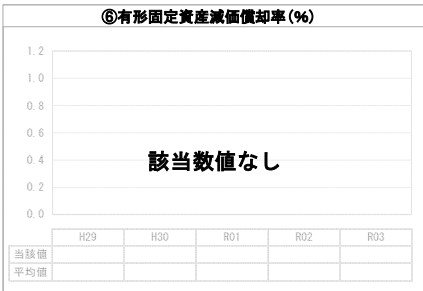
分析欄

1. 収益等の状況について
 平成31年4月から30分以内無料としているため売上に影響しているが、売上高GOPは平均値よりも高い状態を維持しており、平成27年度には駐車場建設に係る起債の償還を完了していることから、全体として収益的収支は高く安定し、会計としては健全である。
 令和元年度実施のエレベーター改修工事及び令和2年度実施の機械式撤去改修に係る起債の償還が予定されているため、今後の経営状況に注意が必要である。

2. 資産等の状況について
 地下駐車場であるため、土地の資産価値はない。また、消防設備等の設備更新が控えている。令和元年度エレベーターの更新。
 令和2年度機械式撤去改修し24台分の駐車区画を設置した。

3. 利用の状況について
 令和2年度末に停止していた機械式駐車場を撤去し、駐車区画を整備し収容台数が増加したが、稼働率が増加している。

2. 資産等の状況

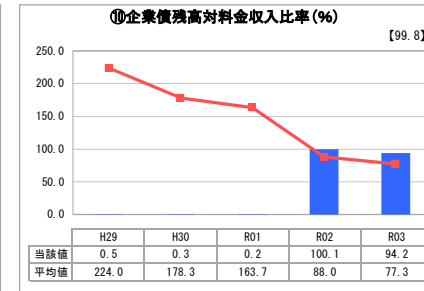
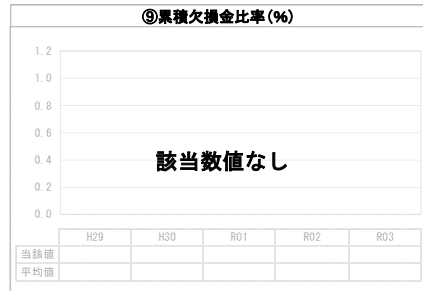


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

39,960



全体総括
 収支は健全であり、事業は継続の方向性にある。今後は、設備の更新が控えているため、収益性を高めつつ、利用ニーズに合った料金体系を検討していく。

経営比較分析表（令和3年度決算）

和歌山県和歌山市 大新地下駐車場

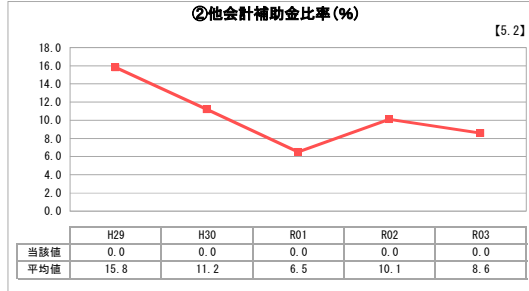
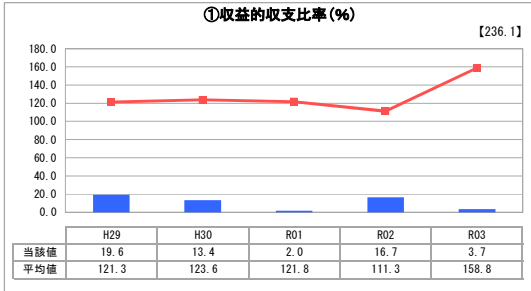
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	25	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	5,602
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
166	200	利用料金制

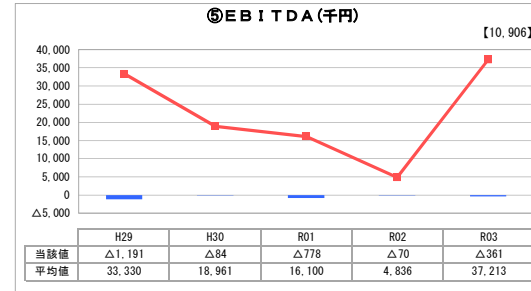
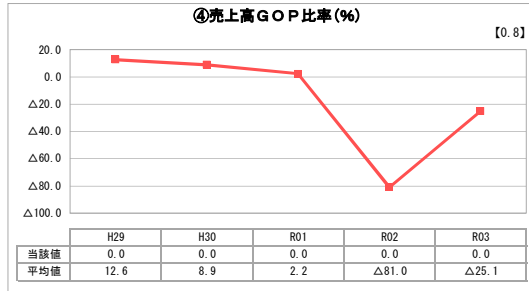
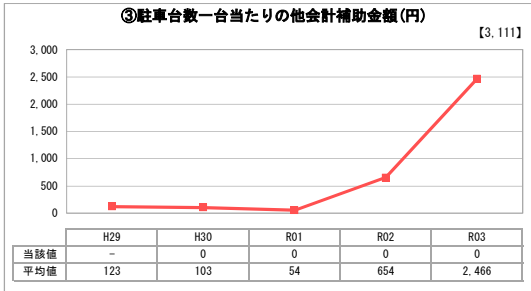
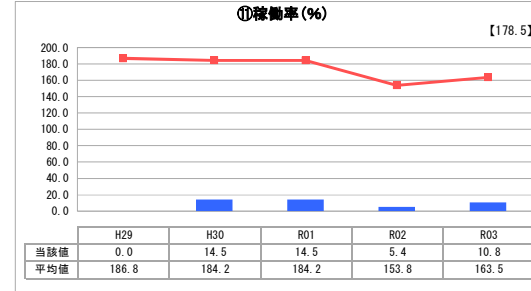
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

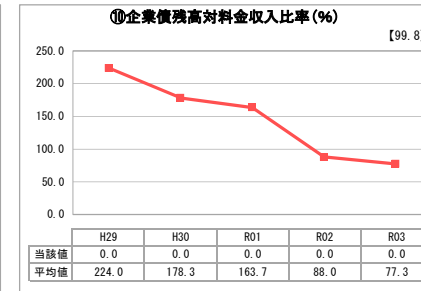
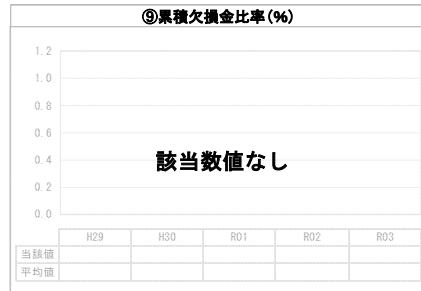


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
平成27年度から休止し、平成30年8月8日に営業を再開したため、この期間(平成30年度の4か月あまりを含む)、駐車場運営による収益はない。また、再開後は利用料金制指定管理者による運営のため、契約により収益が見込まれる令和7年度~9年度までの収支は少額に留まる。

2. 資産等の状況について
地下駐車場であるため、土地の資産価値はない。

3. 利用の状況について
平成27年度から休止し、平成30年8月8日に営業を再開したため、この期間の利用実績はない。再開後(平成30年度の稼働は8か月弱)の稼働率は低いものの、今後は、利用料金制指定管理者の計画的運営により、段階的に収益を増加させていく予定。新型コロナウイルス感染症拡大による影響で駐車場利用者が減少したが、徐々に増加しつつある。

全体総括
民間による設備投資と利用料金制による指定管理者のもと、平成30年8月から駐車場を再開し、地上にある大新公園を活用した一体的取り組みを行っている。今後は、稼働率を上げるため、料金改定や運営面での見直し、地上部の公園の活用等、検討が必要な状況である。